

## セキュリティの原則 いくつか

2020 年 3 月 8 日

By ミケパパ

日本国中が新型コロナウイルスで大騒ぎしている間も、パソコン関連で詐欺を働こうという不逞の輩が後を絶ちません。ごく最近、私宛相談・情報をいただいたものでは「ウィンドウズのドライバーが古いから更新せよとメッセージが来た。有償らしいが、更新した方が良いのか？」

「佐川急便から、荷物を持参したが不在だと SMS にメッセージが届いた。危うく、表示されている URL (ホームページのアドレス) をクリックするところだった」

など。

この他、新聞報道では、同様に SMS (スマホの電話番号宛てのメッセージ) に実在の取引銀行を装った偽メッセージがきて、「口座を更新してください」といって URL をクリックさせる、そうすると本物そっくりの偽の銀行のページにつながる、というフィッシング詐欺が昨年後半から急増しているとか。

これらに引っ掛かるのは、「真面目な人」が多いみたいです。「ドライバーが古いのなら、更新しなくちゃ」「荷物が届かなかったのなら、配達の人が困るだろう」「口座の情報が古いのなら、更新しなくちゃ」等々。反応する前に、ひと呼吸おいて、よく考えましょう。

いくつかの原則を覚えておきましょう。

- ① ウィンドウズ 10 関連の更新は無償です。→金を請求されたらそれは「インチキ」です。
- ② 宅急便の不在通知は各社とも「SMS には絶対にメッセージは送りません」と言っています。メモを郵便受けに放り込んでおだけですね。緊急連絡が必要なら、電話してくるはず。
- ③ 銀行は、SMS で口座の更新を要求することは絶対にない。→ SMS に URL へのリンクがあればそれは詐欺！

日本人は、私も含め「他人に迷惑かけてはいけない」と、つい心配りしてしまう人が多いようです。ですが、宅急便会社も銀行も、本当に必要であれば電話かけてくるとか、必ず向こうから積極的に連絡してくるはず。それまで放っておいても構いません。

それと、ネット広告にも共通しますが、余りに親切なものも要注意です。必ず裏心がある、と疑ってかかりましょう、嫌なことですが。

勿論、「無償の親切」は、ネットの多くのページにあふれています。ですがこれらも、無償で利用しているうちにいつの間にか「これから先は有償で」という所に誘導されたりしますので、油断も隙もありません。もう一つの原則です。

- ④ ネット情報は、複数で確認しよう。

ネットの情報は基本的に「無責任」ですから、平気で嘘も書いています。真逆の情報がないか？十分に調べましょう。信頼に足るサイトがあれば、そちらをブックマークしておき、こういう「信頼に足るサイト」を普段から増やしておきましょう。

最後にもう一つ。

- ⑤ 常識から外れる情報は、概ね間違い。

現在の、分進秒歩の IT 社会では、昨日の情報は今日の時代遅れです。しかし、私どものアクセスする情報は、概ね今までの「常識」で判断できるものが 99% でしょう。「皆さんの知らない極秘情報です」などと言うのは、ほぼインチキです。もちろん、いつも勉強して「常識」を磨いておくことは必須ですが。

以上